

各市町村の状況と今後の動き

釧路地域6市町村の合併協議会を構成する各市町村は、今後も合併協議を続けるかどうかの判断を行い、その内容を表明しました。

(釧路市12月12日、釧路町10日、鶴居村・白糠町・音別町15日、阿寒町16日)

釧路市の表明内容

住民説明会や市民1万人アンケートの結果による市民の意向、議会論議での賛成の方向性、市長自身の考え方を総合的に判断して、今後も合併を推進する立場を表明しました。

あわせて、今後の合併協議について、継続の意向を示した自治体と新しい合併協議のあり方と枠組みなどについて、前向きに取り組んでいくことも表明しました。

5町村の表明内容

釧路町く全世帯アンケートで合併反対が多数を占めたことなどにより、合併協議会からの離脱を表明しました。

阿寒町く町民の意向、議会論議の方向性、財政状況などを総合的に判断して合併を推進するという立場を表明しました。

また、6市町村の枠組みは変わるが、合併協議の継続を目指す自治体の意向を尊重し、今後の方向性を決定したいということも表明しました。

鶴居村く6市町村の枠組みが変わるので、合併是非の方向性についての態度表明は保留する。新たな枠組みが生まれるのならば、新たな合併協議に参加するか否かを再度、議会と協議し判断したい。平成16年3月末までの判断でも、合併期日までの協議は十分に可能と考えていると表明しました。

白糠町く釧路町の合併協議会からの離脱により、6市町村合併協議会に継続参加することは不可能である。今後、新たな合併の枠組みなどについては、現協議会を白紙に戻した上で平成17年3月末を目標に進めていきたいと表明しました。

音別町く枠組みが変わったとしても、合併協議は進めるべきであると考えている。今後の協議会の枠組みについては、原点に戻って考えなければならぬと表明しました。

今後の動き

釧路町の合併協議会からの離脱表明により、6市町村の枠組みが変わることとなります。

今後できるだけ早い時期に5市町村により、これからの合併協議のあり方や新しい枠組みについて協議し、合併問題に取り組んでいくこととなります。



12月定例市議会での釧路市の市町村合併に対する考え方の表明(要旨)

これまで6市町村は、運命共同体として発展してきました。しかし、地方自治制度や産業構造などの変革が進む中、持続的な発展を続けていくためには、今までも増して、地域が一体となり、各自自治体の産業、資源、人材、そして優れたまちづくりの施策をさらに高め、地域の可能性を引き出すことが求められています。

私は、合併問題は、暮らしの豊かさや安心・安全を高め、地域の産業・経済の新しい活力を拓く「21世紀を生きる釧路地域の新しい創造」であると考え、合併推進の立場で取り組んできました。この1年2カ月の間の協議により、地域の将来の姿や暮らしに直結した市民サービスの調整方向などが明らかにされてきました。

市議会のご意見につきまして、多くの会派の皆さまより市町村合併に賛成との表明をいただいたところで、

釧路市としましては、この市民の意向と議会論議の方向性を十分に踏まえるとともに、自身の市町村合併に対する考え方を、総合的に判断し、合併推進の立場を表明いたします。

また、6市町村の枠組みが変わることとなりますが、21世紀の活力ある釧路地域の創造という合併問題が持つ意義は、変わることはありません。合併協議について継続の意向を示されます自治体とともに新しい合併協議のあり方や枠組みなどについて、これまでの経過を踏まえて前向きに取り組んでまいります。



問合先 ● 市役所企画課企画担当 (画) 31-4502

http://www.city.kushiro.hokkaido.jp/kikaku/gappei/